

# くみんの広場 実施報告書

実施日 令和7年11月1日(土)2日(日)

時間 10時00分～16時00分

場所 代々木公園B地区球技場

天候 晴れ

## [実施目的]

スポーツを「する」「見る」「支える」「知る」楽しさを体験し、スポーツの普及・振興へ繋がる情報発信の場とする。

## [実施内容]

### ①ストラックアウト

1人12球で9枚のパネルをめがけて投げる。

すべての的に当てられたらパーフェクト賞を贈呈。

ストラックアウトによるボール投げをとおして、体を動かす楽しさや最後まで諦めずに続ける姿勢、達成感を得てもらう。

### ②情報ブース

スポーツイベントや教室の案内をチラシやポスターでおこなった。テーブルに15種類ものスポーツ用具を展示し、グラウンドの空きスペースで実際に使用してもらうことでその用具を使用するスポーツへの興味・関心につなげる。

## [実施成果と今後の課題]

### ①ストラックアウト

列が途切れることがなく、常に盛り上がりを見せていた。基本は子ども対象ではあったが、保護者も共に参加する姿はとても微笑ましかった。盛り上がりはあったが、ストラックアウトを運営する人数が少ないからか、パネルを貼ったり、コート外に出ってしまったボールを取りに行くのに時間がかかってしまった。

ボランティアスタッフの人数増加が難しいのであれば、1時間のところを30分おきで交代にする、ストラックアウトを自動のものにするなどの改善策が考えられる。しかし、流れがよくなれば参加できる人数が増えると同時にボランティアスタッフの負担が増えることでもあるので来年度のためにも前向きに検討していきたい。

## ②情報ブース

情報ブースをとおり過ぎる人はほとんどいなく、子どもたちを中心に足を止めてくれた。ラクロスやアーチェリーの弓など普段触れることができない用具を置き、触れてもらうことで、そのスポーツへの興味持ってもらい、多種多様なスポーツ体験ができる渋谷スポフェスへの呼びかけに繋がった。本来、展示しているスポーツ用具を持ってフォトスポットで写真を撮ってもらうことを目的としていたが、そう上手くいかず、子どもたちは用具を手にとって実際に使用し始めた。それは、普段、ボールを投げたり、蹴ったりする環境が無いからではないか。来年度は、スポーツ用具を広々と使用できるように工夫するに加え、イベントや教室に対しての周知の仕方を考え直すべきだという結果に至った。

**【来場者数】** ストラックアウト 862名・情報ブース 508名

11月1日（土）

① ストラックアウト 340人

② 情報ブース 282人

11月2日（日）

① ストラックアウト 522人

② 情報ブース 226人

**【スタッフ】** 延べ60人

加盟団体：48人、学びとスポーツ課：1人、スポーツ協会：11人

## 当日写真

